

平成24年度 第1回鎌ヶ谷市消防委員会会議録

1 議題

- 議案1 平成24年度事務事業進捗状況について
- 議案2 消防概況について
- 議案3 その他

2 開催日時

平成24年7月10日（火曜日）10時00分から11時00分

3 開催場所

消防本部会議室

4 出席者

- | | | |
|---------|-------------|--------------|
| (1) 委員 | 鈴木定夫委員（委員長） | 長瀬正久委員（副委員長） |
| | 小宮山節子委員 | 阿部万里亜委員 |
| | 若槻恵子委員 | 山田静雄委員 |
| (2) 事務局 | 澁谷誠幸消防団長 | 川島正二郎消防長 |
| | 皆川宏幸次長 | 林正義消防総務課長 |
| | 高山悟予防課長 | 松本禎久警防課長 |
| | 田中悌二通信指令室長 | 松下晃通庶務係長 |
| | 湯浅貴朗主任消防主事 | 白井祐介主任消防主事 |

5 会議の公開 非公開について 公開

6 発言の要旨

- 林課長 委員会条例第5条による会議成立を報告、傍聴の申し出がなかったことを報告した。
- 林課長 平成24年度第1回消防委員会会議開会を宣言し、鈴木委員長に挨拶を求めた。
- 鈴木委員長 挨拶
- 林課長 消防長は市役所本庁の会議に出席のため本会議に遅れることを報告し、消防長の挨拶は、会議終了時に述べるよう伝えた。
- 林課長 委員会条例第5条の定めにより委員長が議長を務める事を伝えた。また、会議録署名人は、申し合わせにより、山田委員と阿部委員の二名で、任期中は継続となっていることを伝えた。議長へ進行をお願いした。
- 鈴木議長 議案1平成24年度事業進捗状況について説明を求めた。
- 松下係長 議案1については、消防予算の歳出額の内訳、一般会計歳出額に占める割合、及び前年度との比較等を説明した。
- 職員研修について、研修の種別、派遣人員、日程、期間、内容等を説明した。
- 施設保全について、消防救急無線共同デジタルアンテナ・車載無線・携帯無線整備事業、通信指令業務共同運用事業、消防本部庁舎耐震診断・改修事業、くぬぎ山消防署建替事業における種別、金額、契約方法、契約先、概要について説明した。
- 火災予防について、新規採用従業員研修、火災予防ポスター展、防火管理者講習会、火災予防運動、かまがやまなびい大学学部主催講座、消防訓練等指導状況について説明した。
- 救急救命について、救急救命推進証の概要、救命講習の説明をした。
- 消防団について、平成22年度と平成23年度の活動状況を説明した。
- 鈴木議長 議案2消防概況について説明を求めた。
- 松下係長 議案2について、最近3カ年の火災状況、最近3カ年の救急出動件数、平成24年6月30日現在の傷病程度別搬送人員を説明した。
- 鈴木議長 各委員に質問を求めた。
- 山田委員 資料3ページに記載されている、くぬぎ山消防署の用地購入について、概要欄に建替えとあるが、建替えを実施する期間は消防署の機能はどのようにするのか。また、建物はどのような物を計画しているのか質問した。
- 消防総務課長 建替え実施期間の消防署の機能については、くぬぎ山消防署の業務は継続したままで、現在の庁舎裏にある梨畑の一部を購入し、その場所に消防庁舎の建替えをする。工事中についても機能的に問題は生じず、市民サービスの低下は来しないと回答

した。

また、建物については、現在のくぬぎ山消防署と同程度規模のものを計画していると回答した。

小宮山委員

資料7ページの救急講習の普通救命講習の種別で新規のものがあるが、いつからどのように変わったのか質問した。

警防課長

新規種別は、本年4月から新しいカリキュラムとして、普通救命講習Ⅲを加えた。これは一般市民向けの講習で、内容は、小児・乳児を対象としている。また、今回、小児・乳児の訓練人形を整備したので、普通救命講習Ⅱの中でも小児・乳児を対象として講習を開催できるようになった。保育士の方や各施設等でお子さんとお接するお仕事の方などには、是非受講して頂きたいと回答した。

阿部委員

資料3ページの消防救急無線共同デジタルアンテナとは具体的にどのようなものか質問した。

通信指令室長

アナログ無線では、通話の内容が比較的容易に傍受が可能であるため、個人情報秘匿性が課題であったこと、また、割り与えられた周波数帯域が混み合い、他局との混信があり通話内容の聴取に困難を来している。

これらを回避するため、国の指導のもと千葉県では「消防救急無線のデジタル化広域化及び消防指令業務共同化事業」を平成20年度から取り組んでおり、平成25年4月より運用を開始する。

現在使用しているアナログ無線設備では、各消防本部がそれぞれ基地局を保有して鉄塔や庁舎の屋上等にアンテナを設置し、管轄区域内を範囲として通話を行っている。

一方、デジタル無線は、共通波を使用する通話は県内全域で可能となる。消防救急無線共同デジタルアンテナは、県内12カ所に活動波用のアンテナを設置した基地局と、15カ所に共通波及び活動波兼用のアンテナを設置した基地局の計27カ所を整備し県内全域を網羅出来るようにした。

アンテナの設置場所は、既存の庁舎屋上や、電波伝搬調査に基づき良好な電波状態を確保するため、鹿野山にある県防災行政無線施設の鉄塔に設置している。

鎌ヶ谷市でも既存のアナログ用アンテナの鉄塔に活動波用のデジタルアンテナを設置している。

また、災害時バックアップ用に基地局が茨城県筑波山系の南側にある小田山に1基設置したと回答した。

若槻委員

資料8ページの最近3カ年の火災状況の中で、建物火災が多いが、原因はどのようなものか。また、全国的にも鎌ヶ谷と同様に建物火災が多いのか。そして、過去の火災原因から火災予防にはどのような注意が必要か質問した。

予防課長

建物火災の過去3カ年での主な出火原因は、放火（放火の疑

い) が最も多く、次にコンロ、たばこ、ストーブなどが主な原因となっている。また、建物火災は鎌ヶ谷市と同様、全国的にも最多で約60%を占めている。

全体的な火災の予防としては、3つの原則があり、出火させないために日頃から火の管理をすること、火事の早期発見と逃げ遅れを防ぐために住宅用火災警報器を設置すること、万が一に備えて消火器や水バケツを準備しておくことがある。

出火原因別での火災予防として、放火又は放火の疑いについては、放火されない環境づくりをすること。例えば、ごみ類は朝出す。家の周りにはダンボールや燃えやすい物を置かない。物置きなどはカギをかけ、家の周りの整理整頓をする。

次に火災原因で多い、こんろの火災では、火をつけたままその場を離れない。離れるときは必ず火を消すこと。

3つ目のたばこについては、寝たばこをしない。タバコの吸い殻をゴミ箱にすてない。灰皿に水をはっておくといった予防が必要である。

最後に、最近の火災ではコンセントなどの電気火災も多くなっているので、日ごろからコンセントやプラグは埃がたまらないように確認することや、たこ足配線をしないように注意することが必要であると回答した。

長瀬副委員長

資料3ページの消防庁舎耐震改修工事実施設計委託について、Is値の根拠について説明を求めた。

また、普通救命講習Ⅲ用に小児、乳児用の訓練人形を整備したとのことだが、小児、乳児用のAEDは市内にどれだけ設置しているのか質問した。

最後に、今日、国の意向で様々な回線等がアナログからデジタルに移行している。そのため、幼稚園や老人ホーム等に設置されている火災通報装置は、設置時は通常のアナログの電話回線であったため本来の機能を果たしていたが、インターネット回線等を使用したIP電話等に変更してしまうと、通報後、消防の通信指令室側からの折返し通話ができなくなってしまう。こういったケースが増え、トラブルが絶えない状況である。デジタル化に伴う問題点として消防側から県、国へと伝えていただくことはできないかと発言した。

消防総務課長

Is値とは、構造耐震指標のことで、地震力に対する建物の強度、変形能力、粘り強さを考慮し、建物の階ごとに算出される値をいう。Is値0.3未満は地震の振動や衝撃に対して倒壊し又は崩壊する危険性が高い。0.3以上～0.6未満は上記の危険性がある。0.6以上は上記の危険性が低いと判断される。

消防本部庁舎は、平成23年度に耐震診断を実施し、「災害応急対策活動に必要な建築物のうち、特に重要な建築物」はIs値0.9以上とされているが、診断の結果が0.17という低い値とな

った。そのため、平成24年度当初予算では、耐震改修工事を実施するため、耐震改修工事設計委託費801万円を計上した。

しかし、平成24年1月以降の強風や大雨などの天候悪化に伴い、庁舎の至る所から雨漏りや砂埃などが入ってしまう状況になり、再度、今後の対応を検討した。その結果、現計画の耐震改修工事を取りやめ、建替え工事に計画変更をするよう市役所財政部門に要望している。

現在の建物のIs値は、旧棟1階0.17、2階0.19、増築棟1階0.22、2階0.45であると回答した。

警防課長

小児向けのAEDが市内にどれくらい設置されているかという質問について、市内に設置しているAEDに大人用と小児用とは無く、AEDの機器内に入っている小児用のパッドを使用し使い分けをするか、大人用と小児用のスイッチの切り替えをして使い分けるタイプの機種になっている。また、小児用のパッドについては6歳までを対象としているが、小児用パッドがない場合、大人用パッドを使用しても問題はないとされている。

AEDの設置箇所については、資料6ページにある65の救急救命推進証交付事業所と、近くで何かあった際に使用できるようAED設置協力事業所として一般の企業等へ設置していただいている。設置場所については、ホームページ等から「鎌ヶ谷市AEDマップ」にて確認できると回答した。

通信指令室長

デジタル化に伴い不都合が生じていることについて、一般家庭においてもIP電話等が非常に増えており、折返し発信での通話はできない状況である。しかし、発信地表示システムにより通報者の住所、氏名、電話番号等を確認できるため、再度連絡をとることは可能であり、出勤等にも支障をきたすことはない。とはいえ、事業所等の火災通報装置本来の機能が失われてしまうことについては非常に問題であるため、機会があれば是非、関係機関へ伝えていきたいと回答した。

鈴木議長

他に質問等無く承認を求めた。

各委員

異議なしの声が発せられた。

鈴木議長

消防長へ挨拶を求めた。

消防長

挨拶。

松下係長

平成24年度第2回消防委員会開催時間について、各委員に希望を聴取し、次回開催日時については2月上旬で午前中とした。

鈴木議長

議案、質問等無く会議閉会を宣言した。

7 会議録署名人の署名

以上会議経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成24年8月8日

氏名 阿部 万里亜

氏名 山田 静雄